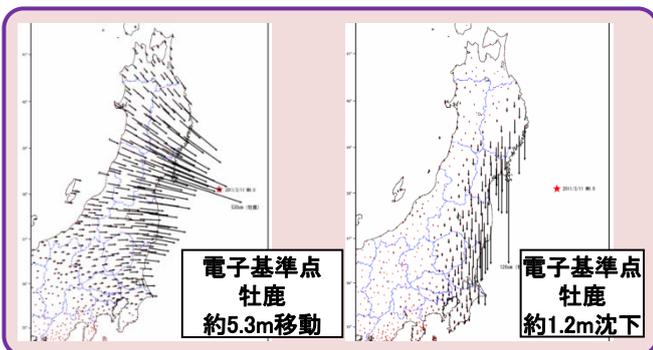
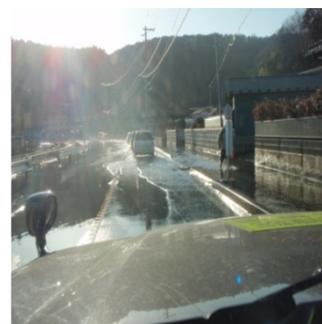


GPS衛星 <情報提供の現状>



5時間後
に第1報



<地盤沈下に伴う浸水被害>

<東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動(水平・上下)>

電子基準点で最大、水平に約5.3m・上下に約1.2mの地殻変動を観測
⇒ 地盤沈下の注意喚起に活用

<津波予測のためのGPS情報提供システムに関する取り組み>

地殻変動解析手法を高度化し、地震による地殻変動をより迅速な把握及び津波予測の高度化等に貢献。

東北大学、気象庁と連携しプロトタイプを構築予定。

解析手法の高度化

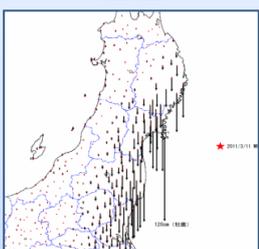
現状

正確な情報を時間をかけて提供(1cmの変動量 5時間後)

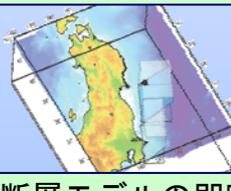
目標

概略の情報を即時に提供(10cm精度の変動量 1分後*)

アウトプット



地震時の変動を即時把握



断層モデルの即時推定

効果

- ・津波予測の高度化支援
- ・地盤沈下地域の把握
- ・避難の初動支援

地震・津波発災時における生活者の安全・安心情報の提供

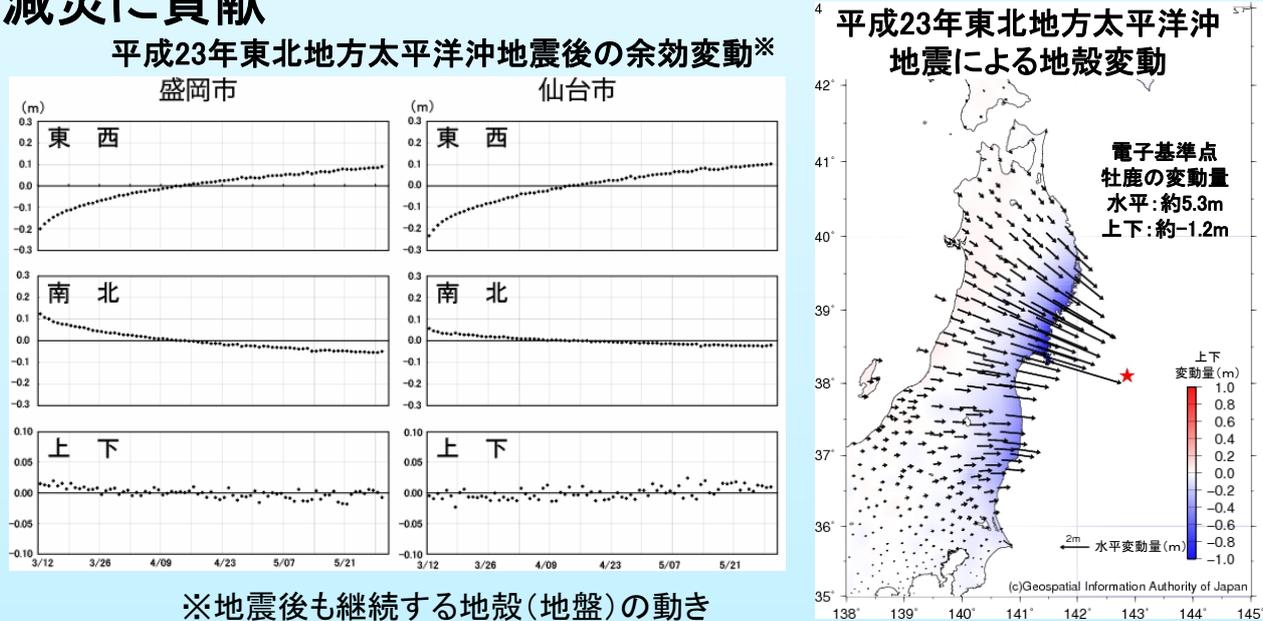
*電子基準点で地殻変動が生じてからの時間。震源域の大きな海溝型巨大地震の場合、地震発生時刻(震源断層で最初の破壊が始まった時刻)から1分経過しても、沿岸部の電子基準点では地殻変動が生じていないことがある。

電子基準点による地殻変動監視体制の強化 (電子基準点の受信装置等の更新)

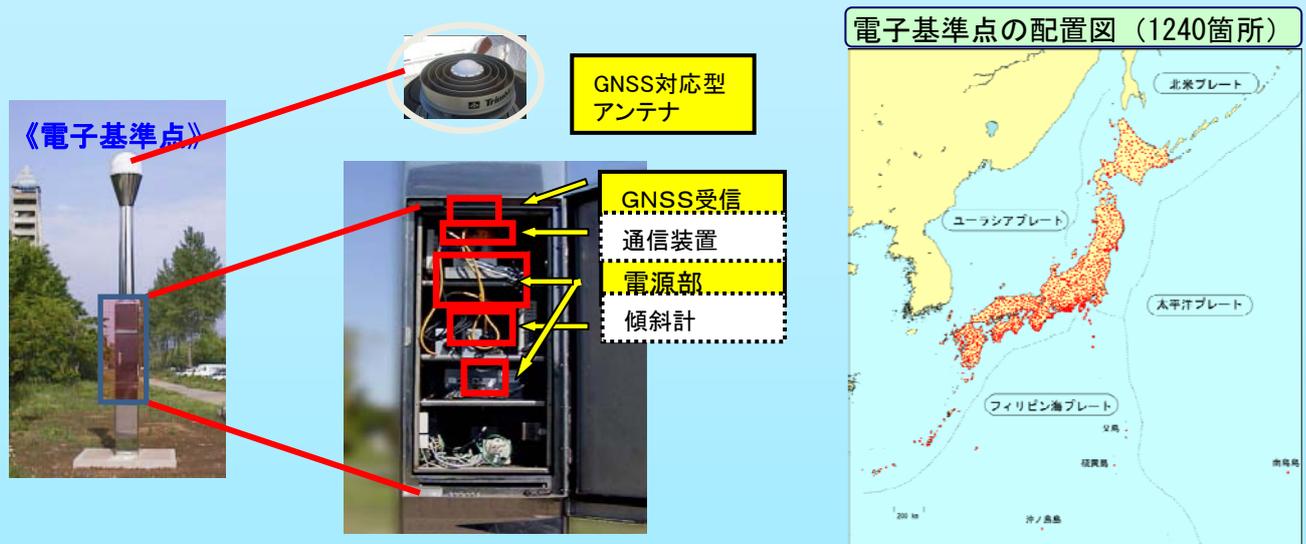
平成23年度第3次補正予算 1,736百万円

●復興支援や防災・減災に貢献及び継続した情報提供

□ 地震による地殻(地盤)の変動を把握し、復興支援や防災・減災に貢献



□ 巨大地震発生時にも継続的な観測・情報提供ができるよう、機器の高度化による防災対応能力の向上



ほぼ全国の電子基準点の無停電装置を72時間対応とし、受信機・アンテナをGNSS対応型とする高度化を実施。